

平成 28 年度第 5 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成 29 年 3 月 6 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分 評議会室

出席者：大田理事長、堺井副理事長、廣川理事、濱崎理事、倉茂理事、上原委員、
小出委員、須江委員、高橋委員、村山委員、渡辺委員

事務局：木村事務局次長、山田総務グループ統括、三和田財務グループ統括、吉村経営企
画グループ統括、北村学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ統括、草
川地域連携推進グループ統括、中川副参事、兼松主事

議 題

【審議事項】

（1）第 2 期中期計画 平成 29 年度・年度計画案について

理事長、副理事長、各理事より資料に基づき説明があった。委員からは、以下のような
意見があった。

- ・ Web を活用した授業については、能動的な学習のために有効であり、ぜひ充実してい
ただきたい。
- ・ 科研費採択の審査基準が変わるので、しっかり事前準備をしていただきたい。
- ・ 大学マネジメント研究会の取り組みにも参画され、参考にされてはどうか。
審議の結果、原案どおり承認された。

（2）平成 29 年度予算（案）について

三和田財務グループ統括から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案どおり承認された。

（3）学内規程等の改正について

山田総務グループ統括および三和田財務グループ統括から資料に基づき説明があっ
た。審議の結果、原案のとおり承認された。

（4）公立大学法人滋賀県立大学学舎長寿命化のための長期保全計画（案）について

三和田財務グループ統括から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案どおり承認された。

【報告事項】

- (1) 滋賀県立大学将来構想「USP2025ビジョン」の策定について
資料に基づき理事長から報告があった。
- (2) 公立大学法人滋賀県立大学 広報戦略（案）について
資料に基づき吉村経営企画グループ統括から報告があった。
- (3) 平成28年度第3四半期予算執行状況および決算見込みについて
資料に基づき三和田財務グループ統括から報告があった。

【意見交換】

(主な意見)

- ・ 広報戦略のターゲットとする地域（エリア）を明確にしておくべきではないか。
- ・ 誰を対象とするかによって戦略の中身も変える必要があるのではないか。
- ・ 学生の確保のため、県内の高校へは丁寧に訪問する必要がある。
- ・ 「県大の星」「県大 jiman」などの刊行物については、配布先も考慮し、ねらいどおり効果が上がっているか検証していく必要がある。
- ・ 広報戦略の策定は必要で、大事である。
- ・ 将来構想で大学が何を目指しているかを明確にすることは大切である。将来像の実現に期待したい。
- ・ 地域貢献のリーディングモデルについては、学内の意思統一を図る必要があるのではないか。
- ・ 将来の大学のあり方や大学のブランド力については、大学の個性が求められるのではないか。
- ・ 工業製品の商品化にあたっては個性的なデザインが重要であり、大学としてもかかわっていただきたい。
- ・ 琵琶湖を抱えており、やはり大学で、水をテーマとした取り組みをお願いしたい。
- ・ 地方創生のため、地域のコンパクトシティ化についても大学のテーマとして取り組んでいただきたい。
- ・ 県立大学には将来の社会のための様々な資源がそろっており、特色化されるとよいのではないか。
- ・ 将来構想は大変良い。起業・企業研究会の立ち上げにも期待したい。
- ・ 広報戦略については、何を売りにするか、ブランディング力が大事である。デザイン化、社会とつながることも大事ではないか。
- ・ 社会人の大学での学び直し、スキルアップは重要である。今後、欧米の大学のようなスタイ

ルになっていく可能性があり、生涯教育に力を入れていただきたい。

【その他】

- (1) 平成29年度経営協議会委員について
理事長から報告があった。

- (2) 平成29年度経営協議会開催日程について
資料に基づき吉村経営企画グループ統括から報告があった。

【資料配布】

- (1) 数値で見る滋賀県立大学 2016 について
- (2) 平成28年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況について
- (3) 平成29年度特別選抜試験結果および一般選抜志願状況等について